

## 女子部中等科・高等科

### 「コロナ禍における女子部の学びと生活」

竹上尚子 星住リベカ 中川亜紀子

新型コロナウイルスの流行により、1学期は登校しないオンラインでの授業となり、女子部の生活では大きな変化が見られた。自治生活、とりわけ自ら体験して学ぶ生活の中で、感染症対策のために制限がかかり、やむを得ず別の方法を試みては試行錯誤を繰り返す1年であった。例のないことを自分たちで考えながら創り出す生活は、自らの手と頭を使って工夫を重ねるというまさに自治活動そのものの学びであった。

#### I. はじめに、この1年の変化を記す

2020年3学期～2021年3月までの実際

- 2月26日 学校での自宅学習・卒業式・終業式縮小決定
- 2月29日 清風寮を閉鎖
- 3月16日 高等科3年、修了式を縮小して開催
- 4月1日 新年度登校開始を5月11日以降と決定
- 4月9日 始業式を配信、その後1学期はオンラインで授業を行う
- 4月10日 イースター礼拝配信
- 4月11日 第100回入学式配信
- 4月21日 登校再開を6月1日に決定
- 4月25日 中等科1年と高等科3年の交流会 (Zoom)
- 5月2日 女子部生徒の懇談会 (Zoom)
- 5月20日 1学期を6月末までにすると決定
- 5月30日 女子部生徒の交流会 (Zoom)
- 6月13日 女子部男子部、登校日1回目
- 6月27日 女子部男子部、登校日2回目
- 6月30日 女子部男子部、終業式  
オンラインの授業終了
- 7月1日～8月23日 夏休み
- 7月13・15・20・22・27・29日 農芸有志の働き
- 7月16・30日 委員の呼びかけによる有志の働き
- 8月24日 女子部男子部、始業式・新入生歓迎セレモニー  
生徒の係による心のこもった会となった  
2学期より対面での新しい生活が始まる
- 8月25日 3・4時間目 全体ガイダンス (Zoom)  
5時間目 中等科、高等科ガイダンス
- 8月26日 3・4時間目 情報の特別授業  
6時間目 「コロナ禍の私たちの社会」  
女子部・男子部生徒による発表とワークショップ
- 10月3日 初代から2期への更迭式



高3と中1のオンライン交流



登校日 食堂にて



農芸有志の働き

10月8日 新入生歓迎のお食事

10月17日 体操会（午前のみ）

女子部男子部学部の3部のみで行い、  
大芝生で互いの練習の成果を見合った

10月27日～30日 中等科3年広島・海山特別勉強

研修旅行には行かず、学内で学習を行い、  
広島と教室をZoomでつないだ  
海山の勉強は、みらい館で実施された

11月20日 野の花祭（女子部内で実施）

クラスの中を深める・異学年での交流の機会とする  
そして自宅学習生のことも忘れないということをも  
目的とし、コロナ禍でできなかったことも含め、  
様々な企画が実施された。



有志の働き



新入生歓迎のお食事



中3 広島・海山特別勉強



女子部 野の花祭



高3 演劇「白雪姫」



中1 ハンドペイント



野の花祭 高1 巨大迷

- 11月20日 HPにて美術展の作品発表を実施。美術の教員を中心に、女子部男子部学部の展示予定だった生徒の作品をオンライン上で発表した。
- 12月23日 2学期 終業式 (Zoom)
- 1月12日 3学期 始業式 (Zoom)
- 3学期も2学期と同様に with コロナの生活となり、宿泊を伴う学習は全て中止となった。
- 3月8日 高等科3年企画による全校体育祭がグラウンドで実施された。
- 3月16日 高等科3年修了式 保護者出席のもと、記念講堂で行われた。
- 3月23日 修業式 (Zoom)

## II. 学習について

4月、新学期の開始から直ちにオンラインを始めた。生徒の学びを止めず、滞りなく授業を開始できるようにと、男子部女子部の教員数名による「遠隔学習推進チーム」が結成され、その尽力によるところが大きかった。授業に使用したアプリは Google Classroom、Zoom、YouTube の3種類である。

Google Classroom は教員と生徒のやりとりと課題提出用、Zoom はリアルタイムでの授業、クラスの時間、会議など、YouTube は一部の授業で事前に配信、または録画を配信するなど、使い分けを行なった。

オンラインで1~6時間目までの授業をカバーする試みは、教員にとっても生徒にとっても大きな挑戦であったが、教員の創意工夫と生徒の努力、また保護者の理解と協力のおかげでなんとか軌道に乗せることができた。

特に、自由学園独特の実技を伴う授業については苦慮しながらも、実物を郵送、動画を駆使して丁寧な学びを提供することができたのではないだろうか。裁縫では工夫してマスクを制作し、スライドで共有、料理では農芸で収穫したジャガイモとピーズを各家庭に発送し、工夫した料理を作って画像を公開するなど、個々人ができることをして学びにつなげる機会となった。

## III. 自治生活について

### 1. 委員会

1学期は登校再開のめどが立たなかったため、初代委

員がオンライン中、夏休みを挟んで責任を担った。2学期に登校が再開し、委員を4期までとし、2、3学期の残りの日数を2期3期4期で調整し、イレギュラーな形で委員期間が決まった。また、寮生の人数を減らしていることを受けて、通学生は寮に入らず、通いで委員をすることとなった。

総会などは、人が集まって密にならないことを配慮し、各教室にいて Zoom で会議を行ったり、委員会の Classroom を設けて教員や委員同士の連絡をオンラインの通信欄で行うなど、いかに集まらずしてコミュニケーションを取り、自治を行うか、試行錯誤の連続であった。

また委員の仕事に関して、コロナ感染予防の観点から、衛生面のことを庶務主任が担うこととし、日々の消毒液を薄めて作ることを委員会が責任もって行った。食事、労作での消毒は各主任を中心に各掃除場所ですっかり行われるよう、全体でも周知し実行した。

### 2. 高等科3年の思いと「つながり」

高等科3年生は、オンライン中でも新入生を交えて少しでもつながりを大切にしたいと考え、有志による女子部懇談や交流会を企画した。昨年度末の修養会で出た「学年を超えたつながりを持ちたい」という意見をもとに女子部で交流ができるよう3人が実行委員となり、Google Classroom を使って参加を呼び掛けた。当日は Zoom のブレイクアウト機能をつかってグループでの話し合いも持たれた。顔と顔を合わせて話し合う場合と違い、wifi が落ちたり、発言のタイミングが合わないなど、うまくいくことばかりではなかったが、互いを配慮し合い、思いやりを持ちながらコミュニケーションの工夫を測るには良い機会であった。

対面の生活になってからは、3学期に高3企画による女子部体育祭が行われ、グラウンドで思い切り交流しつつ体を動かすことができた。このように、生徒発信で新しく形を変えつつも工夫によってつながる機会が持てたこと、それは女子部生の創意工夫から生まれた賜物ではないだろうか。

### 3. 登校日

6月13日、6月27日の2回、女子部・男子部では登校日を設けた。登校日の目的は2つあった。一つは生徒同士の交流の場となるようにということ。二

つ目は2学期からの登校再開に当たり、コロナ感染症対策の練習を兼ねるということである。

新しい概念である3密をさけるということを第一に考え、手洗い、消毒、ソーシャルディスタンス、ゾーニング、密にならない人数と動線を検討した上で組み分けや基本時間の設定を行った。その結果、午前と午後に分けて登校、また登校時に受付で検温の確認、マスク着用の確認をする、使用後は場所の消毒を行うなど、念入りに計画し、Classroom上で生徒に伝えた。

登校してからのプログラムは生徒中心に企画され、久々の登校であることを配慮して少人数でコミュニケーションが取れるようなアクティビティが検討された。

また、学園のみならず、地方ごとにも集まれるよう、友の会のご協力のもと、会場として友の家をお借りして地方での登校日も開催された。名古屋・西宮では2回とも開催し、仙台・岡山・福岡では緊急事態宣言解除後の6月27日に開催した。

地方でも内容は生徒同士で相談して決めたので、地方ごとに特色あるプログラムとなった。習字を書いて互いに見合ったところや、マスクケースを手作りしたところもあった。

#### 4. 基本時間について

8:00	8:00以降登校可		
8:30	1時間目 (オンライン)	13:25	2時間目
9:10		14:05	
9:15	2時間目 (オンライン)	14:15	労作
9:55		14:45	
10:00	本鈴	15:55	クラスの時間
10:00	クラスの時間	15:05	
10:10		15:05	解散
10:10	礼拝		
10:20			
10:35	3時間目	15:10	7時間目 (労作)
11:15		15:50	
11:30	4時間目	16:00	クラスの時間
12:10		16:10	
12:35	昼食	16:10	解散
13:05		16:45	最終下校
13:25	5時間目		
14:05			
14:20	6時間目	12:35	土曜日 昼食
15:00		13:05	
15:10	労作	13:20	労作
15:40		13:50	
15:50	クラスの時間	14:00	クラスの時間
16:00		14:10	
16:00	解散	14:10	解散
16:45	最終下校		

2、3学期の基本時間は、女子部男子部教員の基本時間を考えるグループを中心に案を練り、決定を諮った。これまでと大きく変わったのは、10:00 本鈴にしたことである。コロナ禍で寮生の一部の人数を減らすために、遠くから通学する生徒の時間帯を考慮しての時間割である。1、2時間目はオンラインでの学習とし、3時間目から6時間目までを対面授業とした。また、事情により自宅学習を続ける生徒のためには授業中に Zoom を開き、配慮した。

解散は16:00とし、通学生がラッシュ時と重ならないよう配慮し、帰宅時は16:45とした。(記: 竹上)

#### 5. 衛生面について

新型コロナウイルス感染症対策においては、東京都教育委員会からのガイドラインを受けて、6月末に学園長から「自由学園新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」が示された。一人一人の感染予防に関する行動が、自分の命を、家族を、大切な人を、社会を守ることにつながることを、感染症拡大防止のため、医療や社会生活を維持する業務の従事者等、最前線で尽力されている方々への感謝の気持ちを忘れないことを大切にしたい。具体的には、学校という立場上、集団生活になる為、感染症拡大防止の観点から「病原菌を持ち込まない・持ち出さない・広げない」を考え、『三密の回避』『手洗い励行』『咳エチケット』の対策を基本とした。

6月末に対面での授業が2学期から始まることが決まり、女子部では、健康管理室の浅岡さん、角谷さんと星住の3人が衛生面を担当することになった。5月中に、健康管理室が28ページに及ぶ「自由学園コロナウイルス感染症女子部衛生管理マニュアル」を作成して下さっていた。表や絵でわかりやすく感染防止対策において、日常生活で気をつけることが書かれていた。このマニュアルを基に、8月はじめに「自由学園女子部新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を冊子として作成し、教職員、保護者にネット配信した。この冊子を通し、保護者へも学校の衛生面の取り組みを説明することができた。

2学期が始まる前に、生徒へも衛生面のことを伝えるためにA3両面印刷で「女子部衛生管理リーフレット」(図1)を作成し、始業式に配布することにした。また、感染防止のため生活上での変化も大きいので、夏休み中

に高等科3年の庶務の主任、住の主任にも一緒に感染対策の方法について考えてもらうことにし、Zoomでのオンラインの話し合いを重ねた。8月22日には、全校へ向けて、生徒の委員と健康管理室の先生からスライドを使って「学校生活において新型コロナウイルス感染症で、生活がどう変わるのか」をテーマにオンライン説明会を開催した。

二学期の生活で、衛生面に関することで、それまでの生活と変わったことや準備したことは、以下の内容である。

- ① 健康観察確認表を作成。全員（生徒・教職員）が毎日健康状態と体温を記録する。家庭内感染が疑われる場合、体調が少しでも悪い場合は、登校せず、自宅からオンラインで授業を受けられるようにする。
- ② マスクの常時着用
- ③ 登校時に、丁寧に手を洗う
- ④ 遅刻時のカードの記入の徹底
- ⑤ 毎日の各教室の消毒は、逆性石鹼溶液(0.05%)で徹底的に行う。(担当庶務の委員)
- ⑥ 昼食前と、労作時間、他にも必要時に環境消毒を徹底して行う
- ⑦ 教室の換気の徹底
- ⑧ 教室で食事をするために、上履きで台所から教室まで移動できるように廊下にく
- ⑨ 生活面での衛生面については、委員会では庶務主任が先頭に立って考え、随時必要に応じて健康管理室の先生と相談して、全校へ説明会を行う。
- ⑩ コロナウイルス感染症の疑いがある生徒が出た場合のフローチャートの作成

コロナウイルス感染症による対策の中で、消毒に逆性石鹼溶液を使うことにした。この溶液は一日で効用がなくなるため、毎日の仕事として、溶液を作ってスプレー容器に入れ、各教室に配布しなければならない。継続が難しいこの仕事を、高2、高1の庶務の委員がよく計画を立て、根気よく取り組んでくれた。それは2021年度も続いている。

学校全体の衛生面の意識については、長いコロナ禍の生活で気の緩みも出てきた。しかし、その度に社会状況や女子部で生活を配慮しながら、感染拡大防止対策で大事なことを再確認しながら、庶務の主任を中心に生活上

で気をつけることを全校へ発信し続けた。登校時の手洗い、健康観察表の記入、環境消毒などの感染防止対策は、2021年度も続いている。(記：星住)

## 6. コロナ禍における寮生活

2020年2月末 新型コロナウイルス流行により、3月より全国で一斉休校が決定、3日間で閉寮に向けての準備を行い、3月より8月上旬まで閉寮した。緊急事態宣言解除後、6月頃から寮担当教員・養護教諭・高等科3年の寮改革の係と寮再開に向けての検討を行ない、以下のようなことを決めた。

- 1) 密集・密接を回避するために定員を半数程度にする。  
片道2時間程度の人には一時的に退寮を依頼(6人部屋は3人、8人部屋は4、5人)
- 2) 隔離エリア(中央寮1階)の設置・健康観察及び体調不良者の対応のマニュアル作成若年の寮スタッフ・看護師資格のあるスタッフの増員
- 3) 検温・手洗いがいの励行、洗面所やトイレの使用エリア指定
- 4) 環境消毒・ゴミの捨て方などの決まりづくり・ロボット掃除機等の導入
- 5) 基本時間の改訂(食事時間は2回に分け黙食・細かい時間割はブロックごとに決定等)
- 6) オンライン授業対応のため、全居室・食堂・自習室にwifiを設置
- 7) 外泊は基本的に自宅のみ、外出の際の喫食は緊急事態宣言中は不可

75から83人という少数で、1年近く「感染防止策をしながら自治寮で生活する」ことはなかなか負荷の大きいことであった。寮生活の醍醐味である、「物理的距離の近いコミュニケーション」に制約の多い日々が長く続いた。お食事で「これ美味しいね」や「〇〇大好き」や「ちょっと苦手なので誰か手伝ってくださいませか」、などの会話はしない黙食が基本となり、お風呂でも、黙って・静かにしなければならない、ピアノ室など小部屋で内緒のおしゃべりをするのも推奨しない、等々の今までなかった約束ごとが重要となり、その上で日常の清掃・消毒や食事用意をより慎重に営んでいくことが求められる。団体生活ならではの楽しさや安らぎと、それゆえの制約に対する負担感に対する悩みは、自治寮である清風寮生活での「永遠のテーマ」なのだが、コロナ禍にお

いてよりそれが鮮明になっているように思われる。その中で、高2・高3の有志や寮長・寮の委員と毎週集まりを取り、「今までのきまり・約束」の見直しを続けた。中等科1年生から高等科3年生まで誰でも「こんなことがしたい」という企画を立てられるようにする、21年度2学期からの部屋割りの工夫、時には「日曜日は好きな時間まで寝ていられる日」をつくるなど、色々な案が出され、実行に向けて検討が重ねられている。自らの「生活を自分自身でマネージする」自治の本質と、わがまま勝手との違いを生徒たち自身が悩みつつも掴み取ろうとする姿勢に、大きな成長を感じる。(記：中川)

#### IV. まとめ

100周年を迎えようとしていた女子部にとってこの1年は、まさに新型コロナウイルス感染症コロナ感染症拡大の脅威と戦い、その対策と共に頭を使って過ごす毎日であった。

本鈴・礼拝・食事・解散・・・と当たり前女子部の全員が揃い、共に過ごす時間を大事にしてきた今までと打って変わり、コロナ禍においては、これまでの歴史の中で築かれてきた生活の一つ一つを実践することが困難となり、本質は何かと見直す必要性に迫られる場面も多かったのは事実である。今までの体験的生活がいかにか恵まれていたかを知る機会ともなったのではないだろうか。

試行錯誤と新たな挑戦の日々は、日常で味わえる楽しさと一風異なるものであった。例えば、密にならないために、一堂に会する機会が減少し、上下級生が関わる機会もほとんどなくなった。そんな中で、女子部生が、または寮生が、どのようにコミュニケーションを取って、つながっていけるか、どうしたら心の通った愛溢れる社会をつくることができるか、と真摯に向き合って考え、実行に移していったことは、大きな収穫であった。なぜなら、非日常にあっても、生徒たちがアイデアを出し合い、目的のために何ができるかを常に考えたその姿勢こそが、自由学園での人間教育を体現していると感じたからである。

コロナ禍の生活をきっかけとして、私たちの自治社会には何が必要か、という大きな課題を与えられた。そういう意味では、今まで積み重ねてきたことの真価が問われ始めている。教員も生徒も形にとらわれることなく、

本質を見据えて新たな学びと生活を創造していきたい。

(記：竹上)

#### V. 参考文献

- ・「苦難の先に見えた進歩」『学園新聞』第719号  
2020年7月31日発行
- ・「新たな学び方を模索する」『学園新聞』第719号  
2020年7月31日発行
- ・「コロナ禍で迎えた新学期」自由学園の対応・決定まとめ 資料：学園長室 自由学園資料室 G図書・記録資料グループ『学園新聞』第719号 2020年7月31日発行
- ・自由学園女子部中等科・高等科「自由学園新型コロナウイルス感染症対策女子部衛生管理マニュアル」(2020年6月)
- ・自由学園女子部中等科・高等科「自由学園女子部新型コロナウイルス感染症感染防止ガイドライン」(2020年8月)
- ・自由学園女子部中等科・高等科「女子部衛生管理リーフレット」(2020年8月)

図1 女子部衛生管理リーフレット

### 【環境消毒】

①教壇・特別室等（使用後に実施）  
 毎教壇毎時の実施は最低でも1回/日とし、臭いなどを感じたときなどこまめに環境消毒を行う。

頻度	毎時でも1回（放課後/休校時については適宜）
いつ	放課後・登校前（教室での実施の場合は必須）
実施者	指導生徒→清掃員/保健室担任/教員
場所	ドアノブ、机、生徒の机、窓の取っ手、電気のスイッチ類、机になることろ
物品	① 酸性石鹸（0.05%）※キetchup1杯を1ℓで希釈する。 ※消毒液が乾いた後に作成
	② 漂白剤
	③ 除菌剤
方法	① 清掃時には十分に換気を実施する。
	② 0.05%の希釈液が十分に残っているのを確認する。
	③ 掃除の際は、各清掃場所の清掃に従来通りしっかり行う。不足する場合には追加する。
	④ 掃除後は特に丁寧に共用部分、手が触れやすい場所、椅子などを確認してから取る。 ※各クラスの担当はドアノブなどの共用部分、机、窓などを適宜拭き掃除する。

②トイレ・洗面所等  
 ※入浴ウイルス・新型コロナウイルスなどは排泄物から感染の可能性がため次型環境消毒で消毒する

頻度	1日1回
いつ	放課後
実施者	トイレ掃除の担当生徒・（学級外時：担当教員）
場所	トイレ内定
物品	① トイレ掃除一式・雑巾・バケツ等（ポスター参照）
	② 充分な換気を実施する
	③ 環境消毒には（次亜塩素酸ナトリウム希釈のもの0.1%を使用する） ※消毒薬（ビュラックス製）の準備 （※ビュラックス200g（パケット）×10個（キetchup希釈分）+水1.5ℓ）
方法	④ ⑤ ⑥ ⑦
	① 手袋をして、バケツに消毒液を希釈液を作る
	② 便座の中をブラシで洗う
	③ 床を洗淨する。
	④ ポリマーを希釈液につけ、比較的清潔なところから汚染が多いところへと拭いていく（※乾く→ドアの取っ手→取っ手間・洗浄レバー→便座の蓋→便座裏等）
	⑤ ポリマーは拭き終った後、バケツに残っている希釈液はシンク、床、便座に流す。
	⑥ バケツを水洗いして元の場所に戻す。
⑦ 手をしっかり洗う。 ※希釈液が付着すると衣服の色落ちが生じる場合がある為、取り扱いに注意する	

### 女子部衛生管理リーフレット 2021年4月 科 年 氏名

#### 【基本的な感染対策】

①感染源を断つ

健康観察 環境消毒

②感染経路（道）を断つ

マスクの着用 手洗い 3密の回避 負し取り禁止 こみの管理

③抵抗力を高める

バランスの取れた食事 適度な運動 十分な睡眠

#### 【環境作り】

① 換気の徹底

- 授業中は、空気の入れかえができるよう、2方向の窓・ドアをできる限り開ける。  
※常に開けられない場合でも、毎時2回以上、1回数分程度は完全に開ける。
- 休み時間も、すべてのドア・窓を完全に開ける。
- 教壇室も、できるだけドア・窓を開け、換気する。

＜ 換気対策にもめがけましょう！ ＞

- エアコン下でも、換気を行う。 ロワイ水筒を常備し、こまめな水分補給をする。
- 窓拭き、休養を取り入れる ※換気中でも感染症への感染リスクを低くするために注意していきましょう！

② 3密の回避

- 基本的に密閉、マスクは着用する。
- 生徒間の距離を1～2m確保し、対面・密着にならないようにする。
- 体育中も、十分な換気・距離をとり、マスクを外しましょう。
- 手洗い場などの並び方や順番を工夫する。
- 教壇室への入室を制限、禁止。
- 人が集まる会議は、大きな部屋で換気もしながら行うが、ZOOM等を利用する。

### ～一日の流れ・約束事～

#### 【健康観察】

まず、新型コロナウイルス感染症には、インフルエンザのような関節痛・筋肉痛といった特徴的な症状がありません。そのため、「風邪かな?」「少し体調が悪いな」と感じたら、無理せず休みましょう!

「登校用の健康観察記録」の用紙に起床時・登校時・就寝時の体温を記入し、その日の朝の症状を記録しましょう!

記録内容

- 朝の体温、体調
- 前日夜の体温、体調
- 新型コロナウイルス感染症にかかった人と接触があったかどうか
- 保健所や医師の指示で新型コロナウイルス感染症の検査を受ける予定があるかどうか

健康状態の記録をすることは、自分の健康管理につながります。もし体調不良で受診したときに、記録があると、早めの検査や治療にもつながります。  
 ※新型コロナウイルス感染症にかかったり、濃厚接触者になった場合に、この記録用紙の提出が求められることがあります。

My体温計を忘れずに持って来ましょう!

お家で

検温 健康観察の記入 朝食を食べよう

登校中

マスクをつけて距離を保とう 登校したらまずは手洗い 教室で検温 遅刻したら手洗い後、教室へ 遅刻カードにサインをもらい教室へ 教壇室へ

学校で

常に換気 換気もしよう マスクをして距離を保ち 大声は控えよう こまめに水分補給

こまめに環境消毒 密にならない ティッシュで鼻をかんだら 持ち手のゴミ袋に入れよう 暑が熱いところは特に注意!

食事中も距離を取って、静かに 登校前にも検温しましょう! 丁寧に掃除・消毒 体調が悪くなったら荷物を持って、教壇室へ

解散後

マスクをして距離を保って帰ろう 帰ったら、マスクを外してすぐ手洗い・うがい 夕食を食べよう 検温 充分な睡眠